

教育 雑感

都留文科大学 助教授 森 博 俊

先日、新しい学習指導要領が出されました。学校教育で教えるべき中身を示したものです。日本人は、子どもは「勉強し過ぎ」大人は「働き過ぎ」年をとると「ひま過ぎ」といわれるそうですが、指導要領をみると、子どもの勉強しすぎにますます拍車がかけられるのではないかと心配になります。それほどいろいろなことを知らなくては、子どもたちは一人前にならないのでしょうか。

※ ※ ※

私たちは情報をたくさんもっていることをよいことだと考えます。どこか体の具合が悪いときそれが今まで感じた異常とちがうものであれば町医者や検査よりも、大病院のいろいろな検査にもとづく判断の方が安心できるのを少なからぬ人が経験しているのではないのでしょうか。ある事柄を考えると時には、できるだけ多くの科学的な情報をもっていた方が正確だと思っているからです。こうした発想を展開しますと、少しでも多くの知識をもっていることに価値を求める傾向が強くなるように思われます。

しかし、この考え方が、子どもを育てるいとなみの中に入ってきた

ますと、ちょっとやっかいなことになってきます。おそらく、今日のように科学が急激な進歩をつづけ、時々刻々と新しい情報を生み出している社会にあつては、子どもの知るべきことも、時々刻々とかわれないまでも、増えつづけて当然だということになるでしょう。明治のはじめに近代的な学校制度がつくられて一二〇年ちかく経って今日の状況ですから、これから五〇年先、一〇〇年先のことを想像しますと、それを不可能にするほど私たちの想像をこえる多量の情報を子どもに伝えておかななくてはならないことになってしまうのではないのでしょうか。ちょっと前に流行った「ゆとり」などという言葉は、日本人にとっては、それこそ老年になるまで縁がなくなってしまう。

※ ※ ※

私は障害児の教育について勉強していますが、ある時、現場の先生方と話をしているこんなことが話題になりました。「障害をもった子どもたちには、一つでもよいからその子に可能な『できること』——たとえば単語をおぼえるとか、衣服の着脱ができるなど——を増やしてやる指導が大切なのではない

いか。そのためには多少訓練主義的になっても、同じことをくり返させ、形として『できる』ようにしなくてはならない。それらを応用して生きていく力として子どもが使いこなしていくのは、その次の段階のことではないか。」いろいろな遅れをもっている子どもたちです。まず「できること」を増やし、それから応用力にとりかかろうというわけです。この考え方は、とくに「ちえ遅れ」といわれる子どもの教育を中心に、広くある考え方です。しかしよく考えてみますと、その次元こそちがいますが、これは知識を少しでも多く伝えようとする今日の一般の教育の発想と同じではないかと思うのです。子どものうちは基礎から順に、その発達に合わせて効率的に、少しでも多くの知識を伝えなさい。そうすれば、やがて——大人になったときに——役に立つ力になるでしょうと考えるわけです。

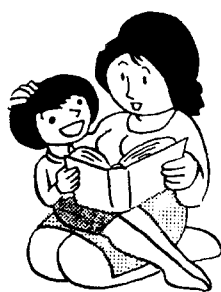
たしかに日々のテスト競争にか

ち、受験の難関を突破して、高給をとれる社会的地位を得る力になるかもしれない。しかし、障害児の教育では、この「やがて」という幻想はもたないようになっています。遅れがちの子どもたちです。やがては結局いつまでも来ないことがあるかもしれません。仮に来にしても、一般に考えられているようなバラ色かどうかわかりません。「やがて」はおそらくないでしょうから。そのために「いま」生きていくことがおろそかになったら、それこそとり返しがつきません。どんな些細なことでも、「できる」ようになることが、それを担う子ども自身の生きがいと表裏一体になっていることが大切なのです。

※ ※ ※

私たちは子どもにどれだけの知識を伝えたいかよりも、どのような知り方をしているかにもっとこだわってよいのではないのでしょうか。そしてその知り方——これは子どもの側からいえば、知識への参加の仕方、考え方であるといえます——を手がかりに、逆に伝えるべき知識を選び直してみる必要があるのではないのでしょうか。それはおそらく文字文化を絶対化した全国一律の教育の中身とはちがったものになるでしょう。

抽象的な結論になってしまいましたが、知識を増やすことよりも知恵の働きを励ますことのできる親であり、教師であり、大人たちでありたいと思います。



ふるさとのまつり（四月）

- 3日 ひなまつり
- 市内各地
- 7日 信玄公祭り
- 甲府市（出陣式は市庁舎前）
- 8日 花まつり
- 市内諸寺
- 10日 春まつり
- 金毘羅社（下天神町）
- 11日 春まつり
- 三島神社（田野倉）・四社祭（田町）・御嶽神社（横町・与縄）
- 12日 春まつり
- 赤石春日神社（中津森）
- 15日 春まつり
- 大神社（中央）・大神祭
- 太宰府天神社（ともに境）
- 稲村神社（小形山）・山神社（沖）
- 機神社（大幡）
- 16日 豊川稲荷
- 広教寺
- 18日 子育延命地藏尊忌
- 夏狩団子坂（耕雲院）
- はたおり地藏（小野）
- 20日 雛鶴神社祭礼（曾雌）
- お太子講（西願寺）
- 22日 養蚕神社祭礼（菅野）
- かがめや地藏尊祭礼・愛宕神社祭礼（法能）
- 24日 春まつり
- お不動さん（龍石寺）
- 28日 第35回市制祭（文化会館他）
- 29日